

ポリナビ

岐阜県看護連盟

青年部 通信

創刊号

2011年8月10日

発行所／岐阜県看護連盟

編集者／伊佐治 哲也

〒500-8367 岐阜市宇佐南4丁目7番16号
1階東アミューズBR

TEL 058-268-7340 FAX 058-268-7345

E-mail: kangorenmeigifuken@cronos.ocn.ne.jp

URL <http://www.gkr.jp/>



岐阜県看護連盟ポリナビ（青年部）通信 発行にあたって

皆さんこんにちは 青年部委員長の伊佐治です。日頃より、青年部の活動にご理解、ご協力いただき深く感謝いたしております。我々、岐阜県看護連盟青年部は、昨年12月17日に参議院議員渡辺猛之先生の夜勤現場視察を行いました。青年部のメンバーも参加し、現場の看護師の生の声を聴いてもらいました。3月19日には、第3回ポリナビワークショップを開催しました。多くの方に参加してもらい、渡辺先生も震災の直後にも関わらず駆けつけていただけました。ワークショップでは、会場の皆様とも一緒になり討議を行いました。そこで、改めて現状を改善していくためには、政治が必要であることを実感しました。これからも青年部は、ポリナビワークショップ、勉強会などの活動を通して、皆様の声を届けられるよう頑張っていきたいと思っております。

岐阜県看護連盟 青年部委員長 伊佐治 哲也

第3回ポリナビワークショップ(H23年3月19日開催)

- テーマ:「つながる・つなげるー看護と政治」
- 目的:看護の現状をより良いものにしていくためには、政治は不可欠であると思います。昨年の参議院選挙において、渡辺猛之先生が当選されました。先生は当選後、看護の現状を視察すると我々に約束してくれた事を12月に実現してくれました。その時、改めて看護の現場の改善には政治とのつながりが必要だと思い、つながる必要性を皆さんに知ってほしくて企画しました。

現状 ポリナビワークショップを振り返って

- 第3回ポリナビワークショップのアンケートを集計・分析した結果、下の図にあるように看護職の抱える問題が分かりました。今後も、青年部を通して問題提議をしていく必要性を感じました。
- 看護師の人員が十分でない中で、医療を行っているため、看護職、一人一人が多重業務となり、患者へのケアの質の低下や提供が出来なくなっていることがわかりました。患者さんが安心して医療(看護)を受けられるためにも現場の声を連盟を通して国政にとどける必要性を痛感しました。今後もポリナビワークショップを続けて行こうと思っています。
- アンケートでのご意見は…(詳しい内容はホームページに記載 <http://www.gkr.jp/>)
 - ・現場で働く一人であり、どこの病院でも大変である事が分かった。
 - ・自分が今後どの様にしていかなければならないか考え直す機会になった。
 - ・現場の声に耳を傾けて下さる方が増えれば、身近なものになり改善されていくと思う。
 - ・「看護と政治」を身近に感じる事が出来た。…など、たくさんのご意見を頂く事が出来ました。他のご意見やアンケート結果が知りたい方は、後述のホームページアドレスにアクセスして見て下さい。



ポリナビワークショップでの渡辺猛之参議院議員【左】と窪田和巳日本看護連盟幹事【右】

これから取り組む課題

1.政治家の現場視察を継続しておこなっていただけるよう働きかけます。

- 現職の国会議員や県議会議員等、政治家の皆さんに看護職の置かれる現状を視察・体験して理解していただく。

2.政治家との勉強会を始めます。

- 政治家(議員)との各分野での勉強会による情報共有と政治・政策に対する学習をし知識を深めます。
- 政治家には看護の現状を、我々(看護職)は現状を良くするための政治について勉強します。

3.広報活動として「ポリナビ通信」を定期的に配布します。

(ポリナビ通信1回/年)

- 看護連盟青年部の活動を定期的に報告していきます。

4.ポリナビワークショップを年1回開催します。

- 一人一人の意見を尊重し、看護に関する問題を様々な視点から検討可能にすることで、問題解決へ向けて取り組んでいきます。
- 第一線での現場での現状の把握や新規問題を共有化することで、活動内容を最適化します。
- その他にも、各施設での研修会にて新たな問題提起を促します。

これからも、看護職、一人一人の力が必要。
そして、各個人の意見が反映されるために、青年部は
活動して行きます。

ポリナビ(青年部) の 目的って何?

- 皆さん専門職として今の看護に満足していますか?
- 看護職の環境を変えたいと思ったりしませんか?



こんな看護職の悩み、現場での問題を少しでも解消すべくワークショップや研修会を開催し、看護について話し合える環境の提供。又、政治と政策のしくみを学び、現場の声を自分達の問題として提起したり、情報交換により問題の共有、又解消方法(個人として出来ること、職場で組織的に考えること、政治の力が必要なこと)等を検討したり、ワークショップの開催をします。



今後の活動

- 第4回 岐阜県ポリナビワークショップの開催(予定)
日 時 2012年3月10日(土)
タイトル 「つながる・つなげるー看護と政治」
会 場 ホテルグランヴェール岐山
主 催 岐阜県看護連盟



2011年3月19日開催時

その他

- 第3回 岐阜県看護連盟 ポリナビワークショップにて、募金を募り被災された地域の方々へ岐阜県看護協会を通じ5万2千円の献金を致しました。ご協力頂き有難う御座いました。
- ホームページと連絡先の紹介
岐阜県看護連盟ホームページ→<http://www.gkr.jp/>
岐阜県看護連盟本部のメールアドレス→E-mail:kangorenmeigifuken@cronos.ocn.ne.jp

こちらからもアクセス出来ます→

